

ガラス器具の使い方（1年 SS 特講 I）

2022年6月30日（木）に1年生のSS特講Iの選択者を対象に、ガラス器具の使い方についての講義・実験を行いました。

講義パートでは、これから様々な場面で使用することとなる器具の測定方法を知ることや、どのように使用すれば正確な数値が求められるのかなどについて知ることを目的としました。実験パートでは中学校で学んできたことの復習を行うとともに、これまでのSS化学基礎等の授業で学んだ知識を実用することを目的として、実際に計測を行ったり、計算をしたりしました。



まずは、炭酸水 500mL 中にどれだけの二酸化炭素が溶けているのかを予想するところからスタートし、それをどのようにして計測するかを知り、実際に炭酸水の溶存二酸化炭素量を計測しました。どの班も正しく計算することができました。

その上で、ホールピペット・メスシリンダー・メスフラスコで「正しく“測る”」方法を知り、実際に精製水を測りました。最初はおぼつかない手つきで測っていた生徒たちも段々とそれぞれの器具の使用に慣れ、徐々に正しく測ることができるようになっていました。



今回の講義・実験で学んだことは、これからのSS研究やSS特講の授業の基礎・基本となります。今回の講義を踏まえて、SS特講Iの授業では次回よりマイクロプラスチックに関する探究活動がスタートします。

